

# 競技上の確認事項

大会競技委員長

## 1. 競技規則の確認

2024年度 公益財団法人 日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。

## 2. 競技方法について

男子の部12チーム、女子の部16チーム、混合8チームによる全試合3セットマッチのトーナメント方式で行う。

## 3. チーム編成について

- (1) チームスタッフを変更する場合は所定の用紙を使用し、当日受付に提出する。
- (2) フロアに入場できるのは、当日エントリーされた者のみとする。

## 4. 試合球について

男子・混合：モルテン（V4M5000-L）      女子：ミカサ（V400W-L）

## 5. ベンチスタッフの服装について

- (1) ベンチスタッフは、チームで統一された服装でなければならない。
- (2) 統一された服装であっても、タンクトップのような形状のシャツ類、短パン、ハーフパンツは許可されない。
- (3) 試合中、左胸部に規定の監督、コーチ、マネージャー章をそれぞれ着けなければならない。
- (4) 小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツを認める。Tシャツの色は他のベンチスタッフと違ってよい。

## 6. 試合進行について

- (1) 試合開始時刻は、プログラムに記載の通り第1試合のみ設定する。
- (2) 第2試合目以降は、前の試合の終了後5分間の合同練習後にプロトコールに入る。
- (3) 各チームの最初の試合前10分間の練習時間を確保する。**(合同練習前)**
- (4) 試合が連続する場合は、大会本部よりプロトコール時間をアナウンスする。
- (5) 試合間のチーム移動は（コートへの入退場）等は、コート委員やアナウンスの指示に従う。
- (6) 試合終了後、チーム監督とレフェリーはフェアプレーの精神で「握手」を交わす。

## 7. 試合中について

- (1) 監督、コーチ、マネージャーは、子どもの健全育成を目指す指導者としての自覚をもち、不適切な行為そのものはもちろん、誤解を招くような行為も厳に慎む。
- (2) 監督は、ボールデッド間に、立ち上がってコート内の選手に必要な指示を与えることができる。このことは、監督がみだりに立ち上がる行為を容認するものではない。また、ベンチスタッフが自然発生的に喜びの表現として偶発的に立ち上がる行為は許容範囲であるが、監督以外が、毎回のよう立ち上がる行為は認められない。さらに、監督が、選手とハイタッチをしたり、飛び跳ねたりする行為及び、相手を威嚇する行為も認められない。
- (3) うちわ等はセット間及びタイムアウト中のクールダウンにのみ使用できる。
- (4) マスコットのな物（ぬいぐるみ、千羽鶴等）やメガホン、キャンプカートの持ち込みを禁止する。
- (5) 水筒やスクイズボトルを直接床に置かない。
- (6) 携帯電話やトランシーバー、タブレット等の電子機器の使用は禁止する。

## 8. 応援マナーについて

- (1) 応援マナーの厳守は、監督の責任において徹底させる。
- (2) 立っての応援を禁止する。
- (3) 横断幕を掲出する際は、該当コートの試合中のチームのみとし、観覧者の視界を遮ることがないよう、手摺の下部にひも等を使用する。
- (4) のぼりは、観覧席の最後部にひも等を使用して立てる。
- (5) 鳴り物（メガホン含む）の使用は禁止する。
- (6) カメラなどのフラッシュ撮影は禁止する。

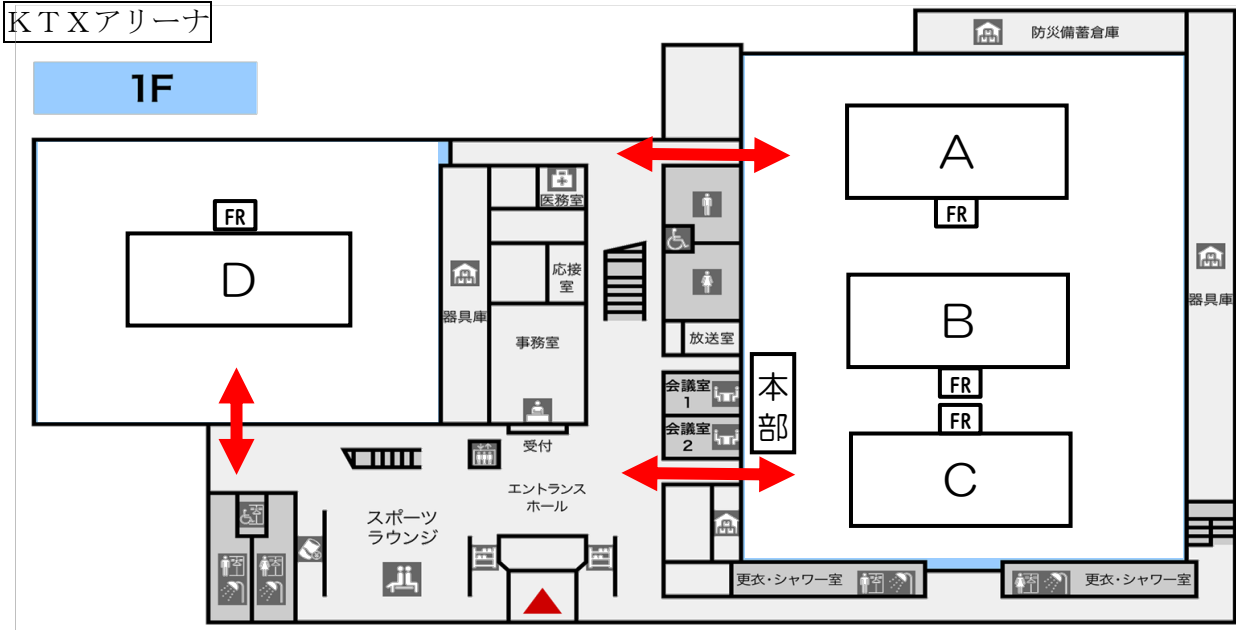
## 9. その他

- (1) 用具、施設、設備等の消毒は、各チーム・個人の判断により行う。
- (2) 試合開始・終了時の挨拶は、レフェリーの吹笛でネットに近付き、相手選手と握手する。
- (3) ロビー等でボールを使用したり、アップをしたりしないようにする。

10. 競技コートについて

コート出入口 

KTXアリーナ



11. 座席について

前1列は該当コート応援のために空けておく。

